

とやま多職種連携教育プロジェクト



WS16

# とやまいびー的 多職種連携・質改善

---

2016.2.12(日)



# 自己紹介

---

小浦	友行	富山プライマリ・ケア講座
三浦	太郎	富山プライマリ・ケア講座
渡辺	史子	富山プライマリ・ケア講座
小林	直子	とやま総合診療イノベーションセンター
河合	皓太	砺波総合病院 集中治療・災害医療部
山根	万季	富大附属病院 医療福祉サポートセンター
豆本	真理恵	富大附属病院 栄養部
堀田	麻緒	山田温泉病院 リハビリテーション部
舟瀬	真衣	山田温泉病院 栄養部
大村	裕佳子	石川県立高松病院 看護部

# WSの目的と到達目標

---

## 目的

- ・ 多職種連携教育ワークショップをデザインするため、とやまいびーを体験する

## 到達目標

- ・ 本日の体験を元に、おのおのの職場で多職種連携と質改善を実践する

# ポートフォリオルーブリック

---

施設管理 ・運営	業務システムの問題を分析し、PDCAサイクルを明確化し、計画(P)、実施(D)、評価(C)、業務改善(A)を行っている。またサイクルは複数回繰り返され、持続的な改善が図られている。
チーム・ ネットワーク	多職種連携か地域医療連携に関し、必要性・課題・目標を明確にし、改善活動を一定期間行い、周囲の状況も考慮しつつ、継続的に評価している。

# 総論

---

# 背景

---

- 超高齢社会における事例の複雑化
- 保健医療福祉サービスの進歩
- 多職種連携の更なる推進の必要性

では、**多職種連携をどのように学び実践すればよいのか？**

# 連携の定義

---

**共有化された目的**を持つ複数の人及び機関  
(非専門職も含む)が、単独では解決できない  
課題に対して、**主体的**に協力関係を構築して、  
目的達成に向けて取り組む**相互関係の過程**

野中猛, 多職種連携の技術. 中央法規. 2014.

# 「顔の見える関係」とは？

・「~~顔がわかる関係~~」

~~単に名前と顔がわかるという関係~~

・「顔の向こう側が見える関係」

**考え方**や**価値観**、**人となり**がわかるという関係

・「顔を通り越えて信頼できる関係」

**信頼感**を持って一緒に仕事ができる関係

# 専門職連携教育とは？

- ・ 複数の領域の専門職者が、連携の質およびケアの質を改善するために、**同じ場所**で**ともに**学び、**お互いから**学び合いながら、**お互いのことを学ぶ**こと

Inter-professional Education (IPE)

Occasions when two or more professions learn **with, from** and **about each other**, to improve collaboration and the quality of care.

CAIPE\* 2002

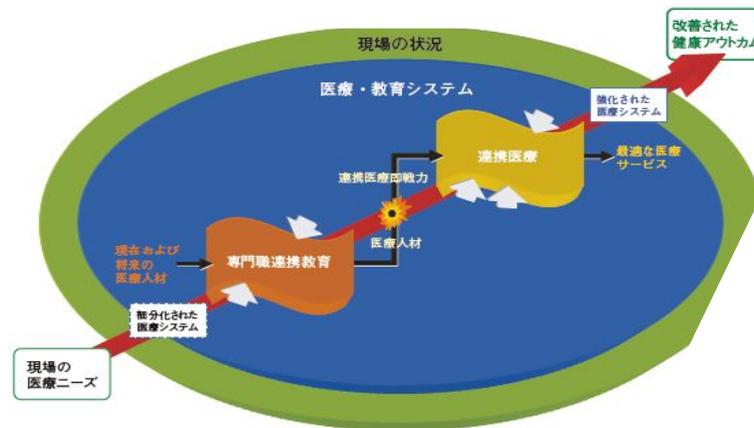
\* CAIPE: 英国専門職連携教育推進センター(1987年設立)

# 国内でのIPEの動向

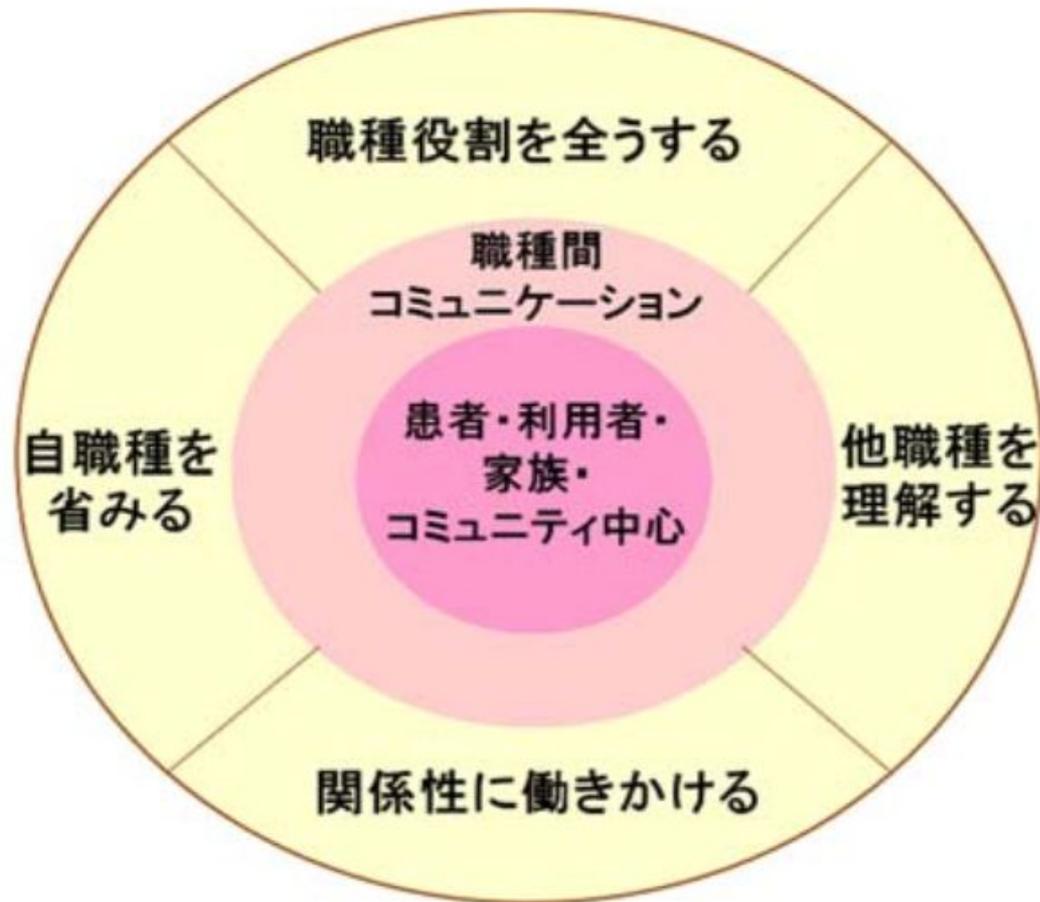
日本保健医療福祉連携教育学会 (JAIPE)

Japan Association for Interprofessional Education

卒前教育と卒後教育が連続した  
**生涯教育としてのIPE**が求められる



# 多職種連携コンピテンシー



医療・保健・福祉の現場を支える『多職種連携力』を持つ人材育成プログラム開発事業

(文部科学省:三重大学) <http://ipeipw.org/>

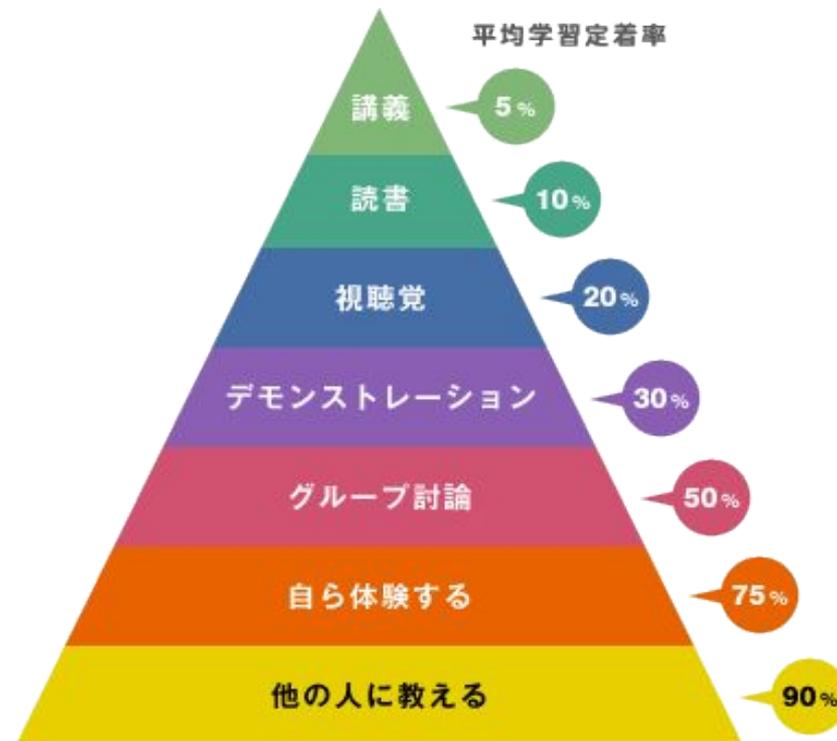
次世代の地域医療を担うリーダーの養成事業

(文部科学省:筑波大学) [http://www.hosp.tsukuba.ac.jp/mirai\\_iryoo/](http://www.hosp.tsukuba.ac.jp/mirai_iryoo/)

# IPEの教育理論

## 「アクティブラーニング」

学習者の能動的な学習への参加を取り入れた学習法



ラーニングピラミッド

※出典: The Learning Pyramid. アメリカ National Training Laboratories

# IPEの教育理論

## 「社会人基礎力」とは



➤ 平成18年2月、経済産業省では産学の有識者による委員会(座長:諏訪康雄法政大学大学院教授)にて「職場や地域社会で多様な人々と仕事をしていくために必要な基礎的な力」を下記3つの能力(12の能力要素)から成る「社会人基礎力」として定義づけ。

### <3つの能力 / 12の能力要素>

#### 前に踏み出す力 (アクション)

～一歩前に踏み出し、失敗しても粘り強く取り組む力～



##### 主体性

物事に進んで取り組む力

##### 働きかけ力

他人に働きかけ巻き込む力

##### 実行力

目的を設定し確実に行動する力

#### 考え抜く力 (シンキング)

～疑問を持ち、考え抜く力～



##### 課題発見力

現状を分析し目的や課題を明らかにする力

##### 計画力

課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力

##### 創造力

新しい価値を生み出す力

#### チームで働く力 (チームワーク)

～多様な人々とともに、目標に向けて協力する力～



##### 発信力

自分の意見をわかりやすく伝える力

##### 傾聴力

相手の意見を丁寧に聴く力

##### 柔軟性

意見の違いや立場の違いを理解する力

##### 状況把握力

自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する力

##### 規律性

社会のルールや人との約束を守る力

##### ストレスコントロール力

ストレスの発生源に対応する力

# 連携を育むために

---

- ・ 顔が見える関係を育む

**「交流の場」**

- ・ アクティブラーニングによる

**「学び合いの場」**

# 現在の連携校



## 富山短期大学

管理栄養士、介護福祉士



## 富山福祉短期大学

看護師、社会・介護福祉士



## 富山医療福祉専門学校

理学・作業療法士  
介護福祉士、看護師



## 富山大学

医師、薬剤師、看護師  
保健師、助産師  
社会福祉士

## 富山県立総合衛生学院

看護師、保健師、助産師



## 富山歯科総合学院

歯科衛生士

## 富山国際大学

社会福祉士



# 学生・教員・実務者が一同に集う場



とやま多職種連携教育プロジェクト



# 实践

---

# 導入

- ・ 導入資料を各自ご覧ください

## 本日の課題

- ① グループディスカッション2回
  - ・ 入院・在宅各チームごとにディスカッション
  - ・ 入院・在宅混合チームでディスカッション
- ② ポスター作成
  - ・ チームの方針をポスターでまとめる
- ③ ポスターツアー
  - ・ ポスター内容を発表
- ④ 本日の経験を各々の職場で活かすには？

# 課題①: グループ議論

---

「入院チーム」と「在宅チーム」

それぞれで方針を検討

在宅チーム: A・C・E 入院チーム: B・D・F

- ・ 入院チームと在宅チームは**異なる情報**を持っています
- ・ まずは各チーム内で方針を共有して下さい
  
- ・ その後、入院・在宅混合チームで議論します  
従って、**自チームの方針を説明できる**ようにして下さい

# 論 点

---

## ① 退院先は？

- ・ 自宅？
- ・ 施設？
- ・ 退院させない？
- ・ その他

## ② 上記方針を実現するための 具体的な準備は？

# とやまいびーのお約束！

- 本日の経験・出会いを共に**楽しもう**！
- 批判はしない！互いに**尊重し合おう**！
- **ちょっと積極的**になり、一回は発言しよう！

## 特にお願い

- 先生へ：授業の評価には反映させないでね♡
- 先輩へ：後輩には優しくね♡
- ベテランへ：初心者優しく誘導してね♡
- 聞かぬは一生の恥！質問も大事な発言です！
- よりよいケアプランを作成することが目的ではない！
- **相互理解と良好なチームワークが目的！**

# グループ議論(15分)

「入院チーム」と「在宅チーム」

それぞれで方針を検討

在宅チーム:A・C・E 入院チーム:B・D・F

- ・入院チームと在宅チームは異なる情報を持っています
  - ・まずは各チーム内で方針を共有して下さい
  - ・その後、入院・在宅混合チームで議論します
- 従って、**自チームの方針**を説明できるようにして下さい

論点①:**退院先**は？

論点②:**具体的な準備**は？

# 課題①: グループ議論

「入院・在宅混合チーム」で方針を検討

- ・ 入院・在宅混合チームを編成
  - ・ まず自チームの方針をお互いに説明
  - ・ 次に混合チーム内で**共通のプラン**を作成
- 信念対立をどう乗り越えるのか？**
- ・ その結果を一枚のポスターにまとめる

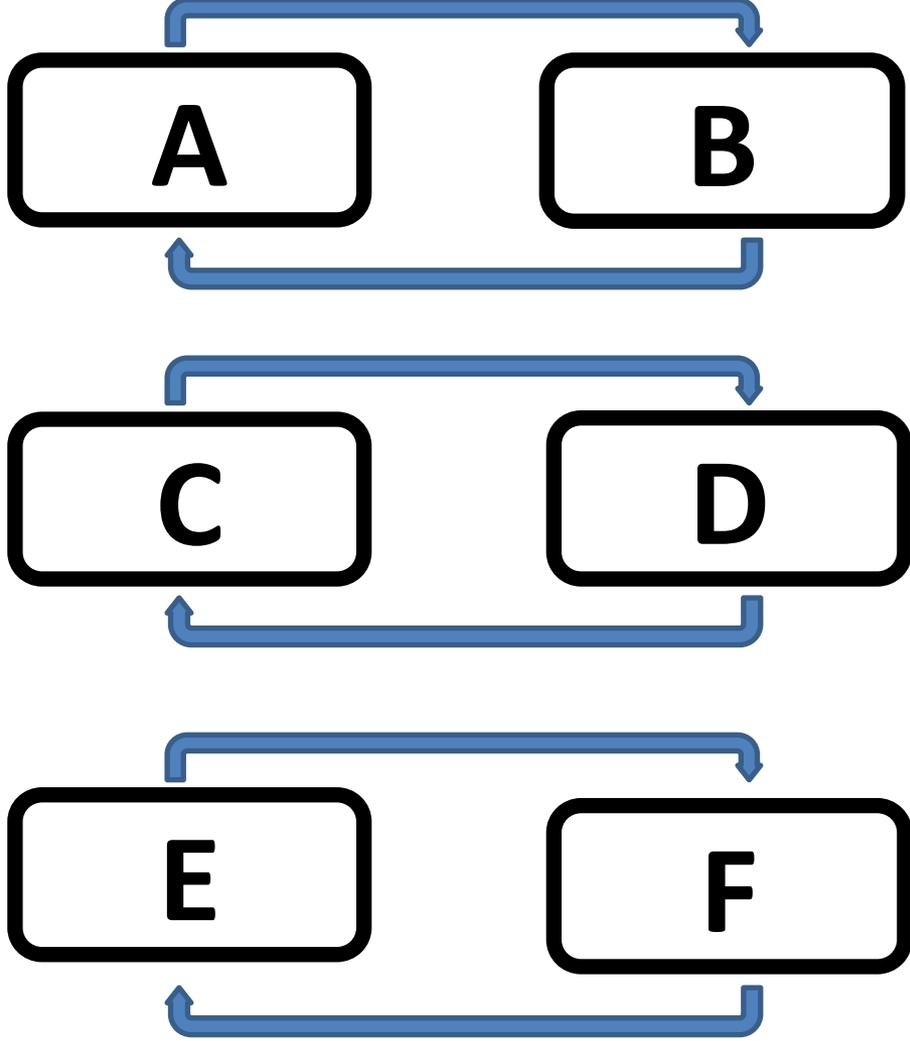
## 注意

**入院・在宅お互いの資料を直接見せ合わないこと！**

お互いに質問しあって情報を補完してください

# 混合チームの作り方

---



半分ずつ入れ替わり



# グループ議論(30分)

「入院・在宅混合チーム」で方針を検討

- ・ 入院・在宅混合チームを編成
- ・ まず自チームの方針をお互いに説明
- ・ 次に**混合チーム内で共通のプラン**を作成  
**信念対立をどう乗り越えるのか？**
- ・ その結果を一枚の**ポスター**にまとめる

## 注意

**入院・在宅お互いの資料を直接見せ合わないこと！**

お互いに質問しあって情報を補完してください

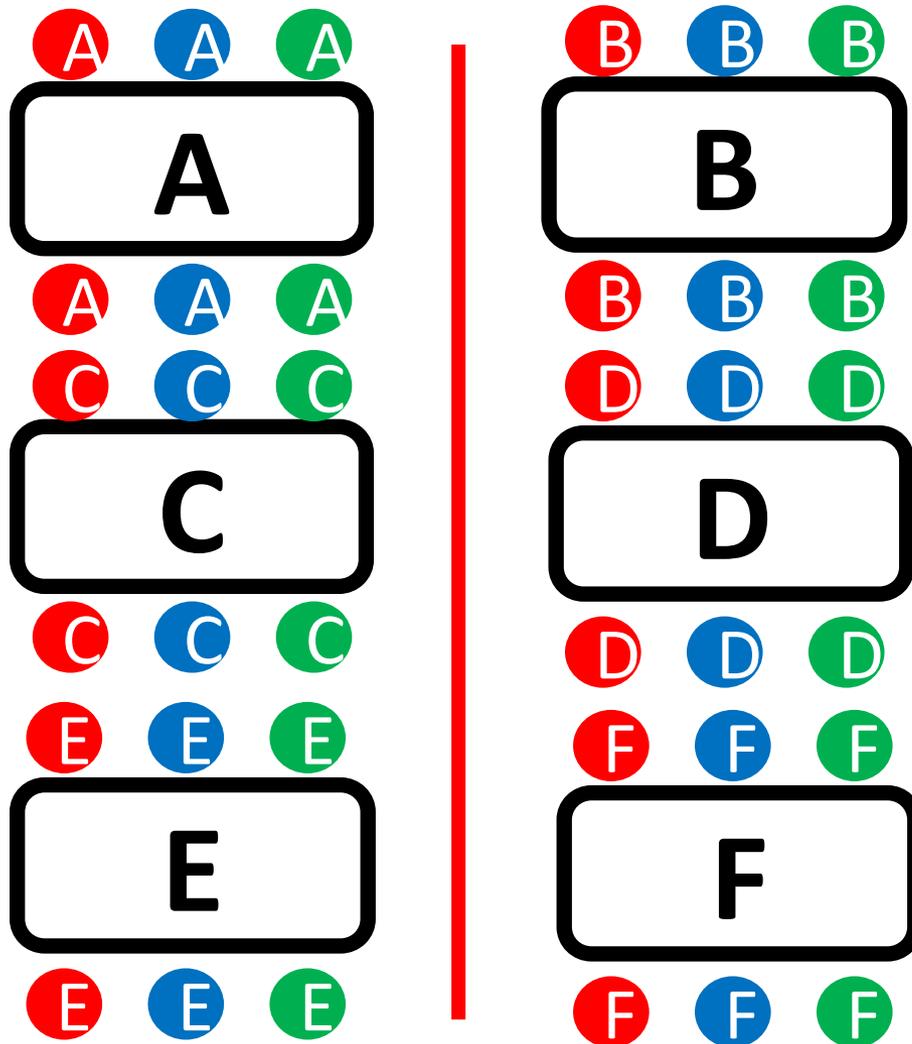
# 課題③:ポスターツアー

自分のチームのプランをポスターツアーで発表

- ・ポスター発表と質疑応答合わせて3分間です
- ・計3ポスターを赤・青・緑のチームでツアーします
- ・各チーム内で3色に分かれてください
- ・二人一組の場合、3分間を分担してください
  - \*とやまいびースタッフは発表をゆずってください

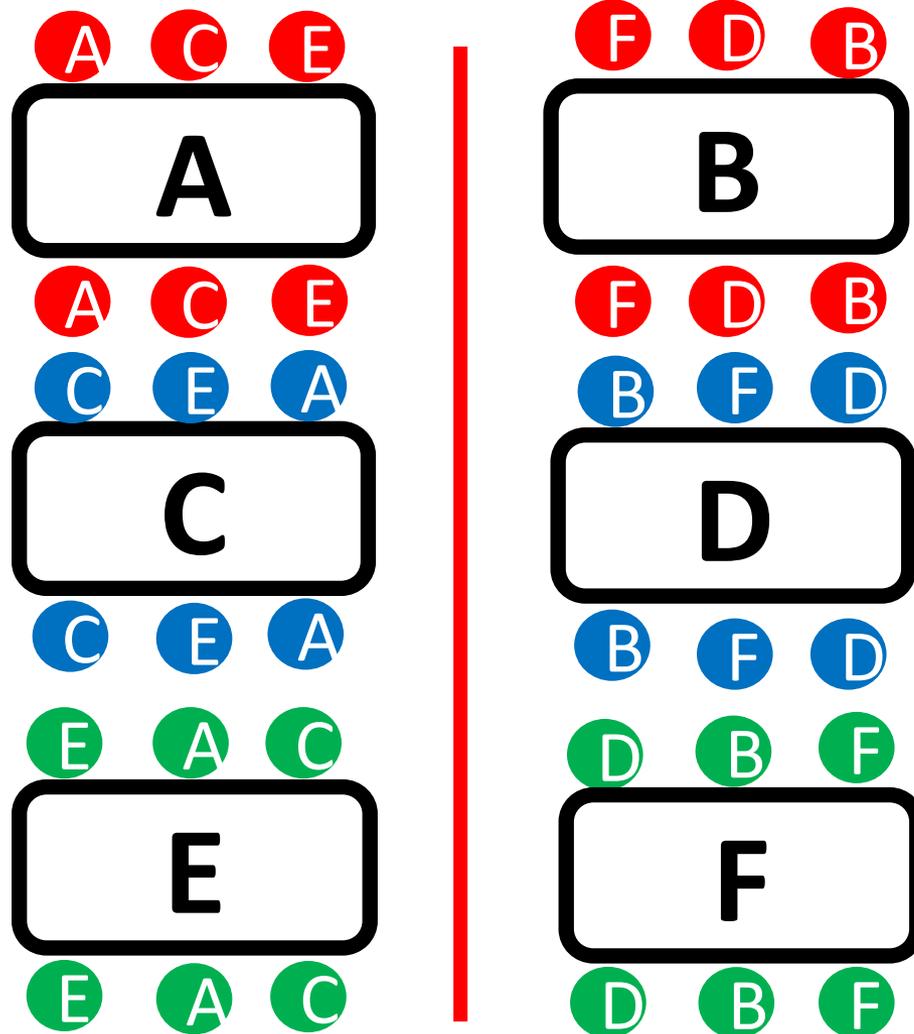
# ポスターツアーとは？

① まず、大きな島で分かれる



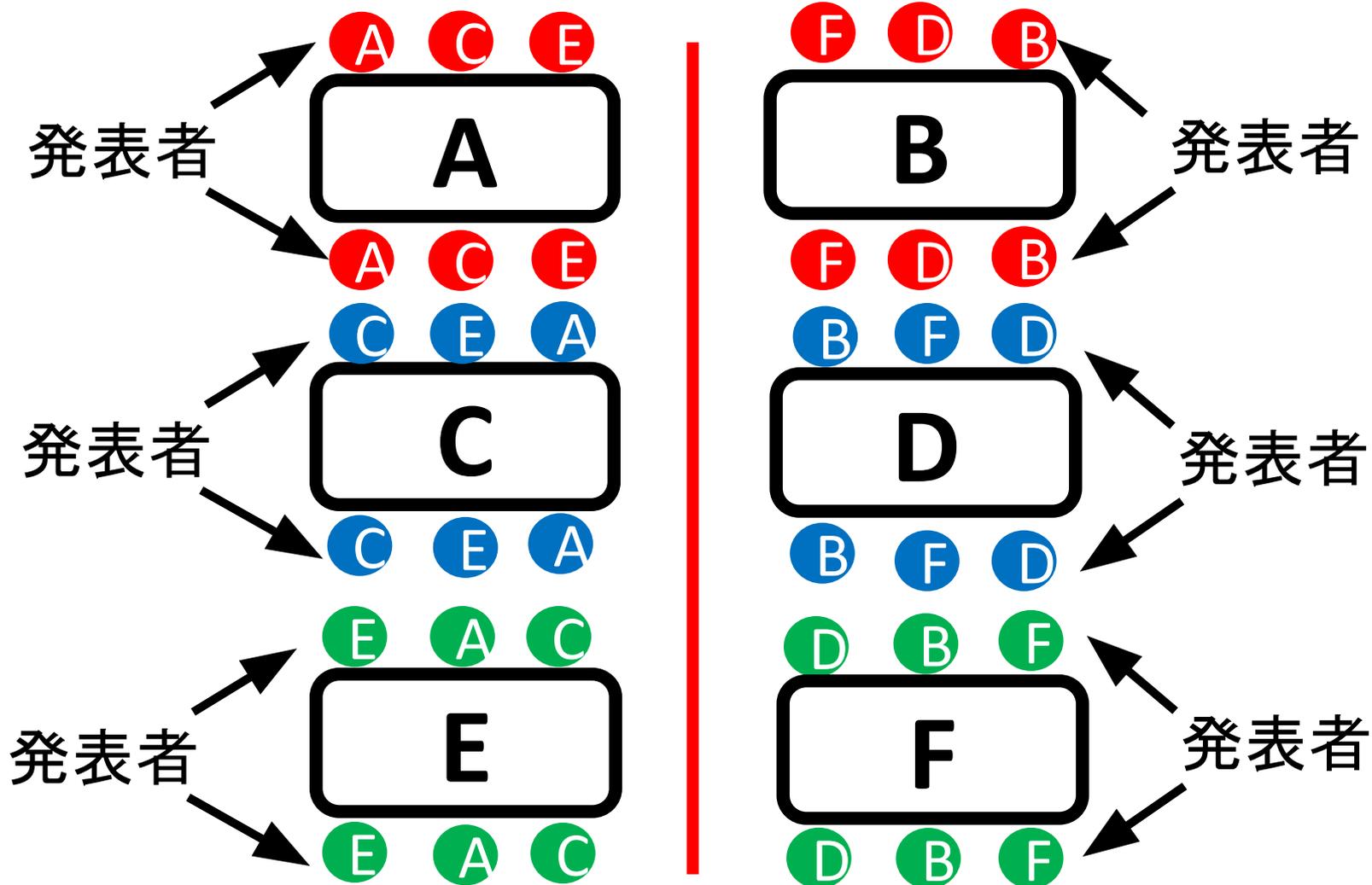
# ポスターツアーとは？

② 各島で、同じ色同士(赤、青、緑)で集まる



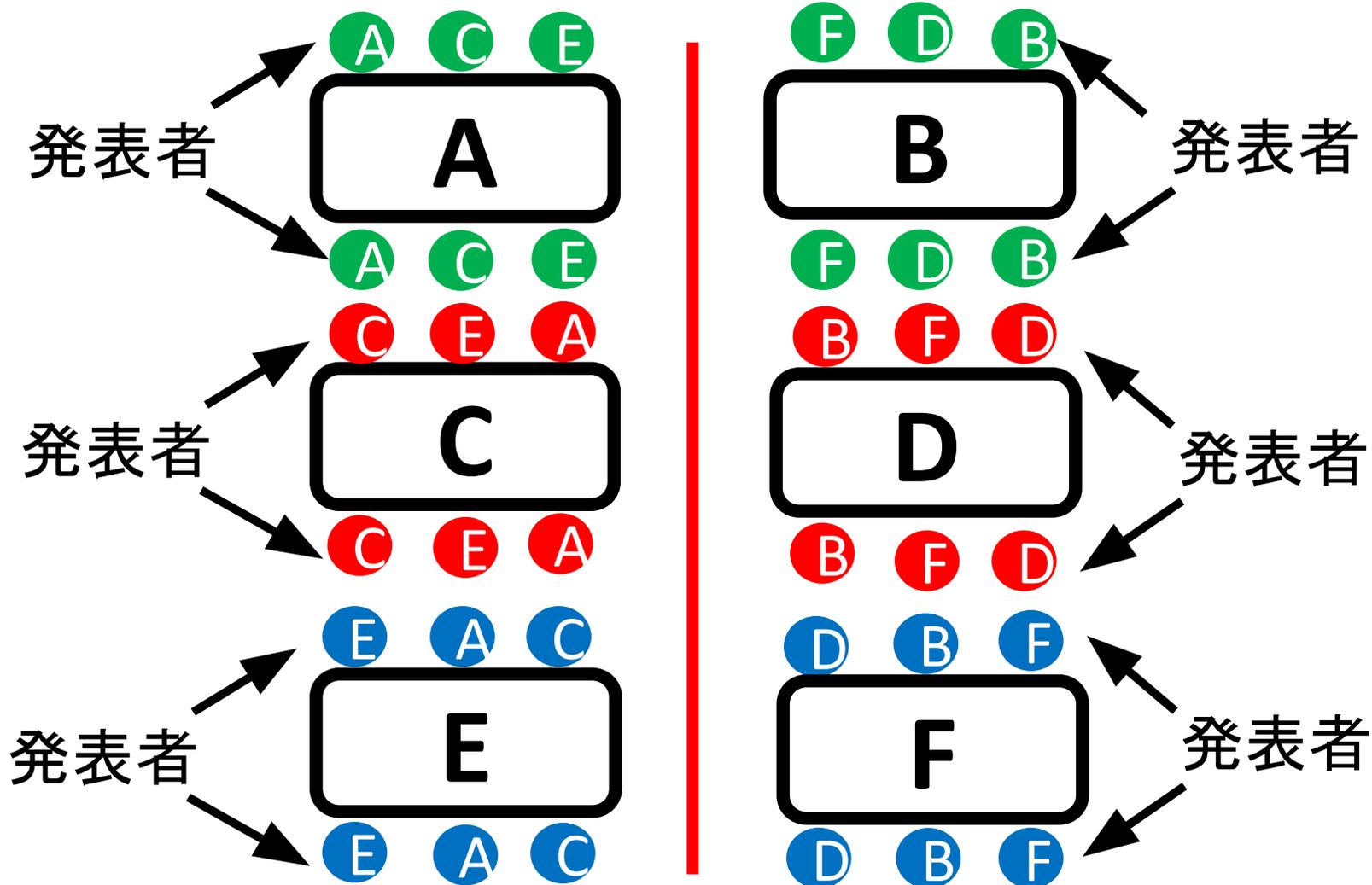
# ポスターツアーとは？

## ③ 自分のポスターにきたら発表



# ポスターツアーとは？

④ 次のポスターへ移動 ⇒ 発表を繰り返す



# 課題③:ポスターツアー(15分)

自分のチームのプランをポスターツアーで発表

- ・ポスター発表と質疑応答合わせて**3分間**です
- ・二人一組の場合、3分間を分担してください
  - \*とやまが一らず♡は発表をゆずってください

## 課題④：今後の実践（5分）

---

本日の体験を元に、おのおのの職場で  
多職種連携と質改善を実践するためには？

- ・グループ内で2-3人のペアになり、上記に関して意見交換をしてください

# 質疑応答(10分)

---

終了！

---

